

2023年12月6日

話題提供

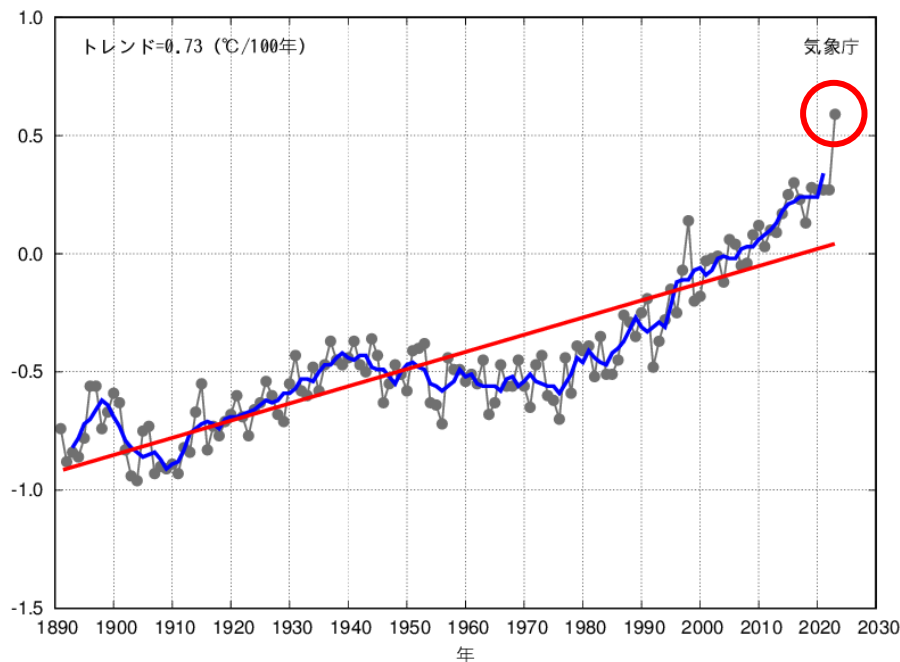
福岡管区気象台

世界と日本の2023年夏の平均気温

2023年の夏（6～8月）の平均気温は、
世界、日本とも**統計開始以降最も高かった**

世界

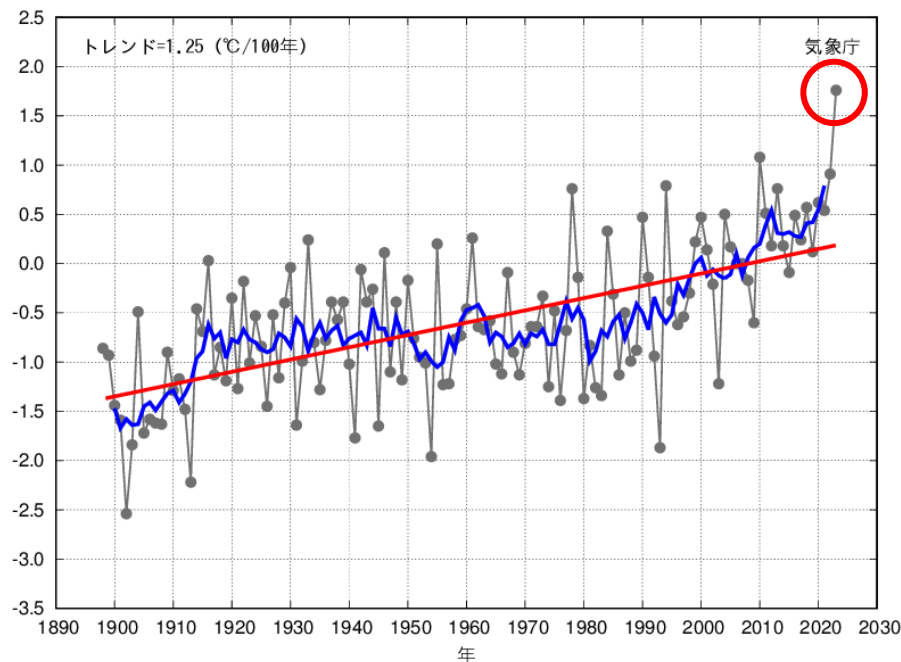
世界の夏平均気温偏差



細線（黒）：各年の平均気温の基準値からの偏差、太線（青）：偏差の5年移動平均値、直線（赤）：長期変化傾向。
基準値は1991～2020年の30年平均値。

日本

日本の夏平均気温偏差



* 九州北部地方は4位、九州南部は8位、奄美地方は27位（いずれも高い方から）

気候予測データセット2022 (文部科学省・気象庁)



日本における気候変動対策がより促進されるよう、国内の気候変動研究プログラム等において作成された気候変動予測データを取りまとめ「気候予測データセット2022」として2022年12月22日に公開

「気候予測データセット 2022」
及びその解説書URL
<https://diasjp.net/ds2022/>



全球及び日本域気候予測データ

台風や集中豪雨などの極端現象の将来変化を高精度に評価するため、世界全域から日本域の過去と将来の気候計算を行った結果である。



日本域気候予測データ

平成29年3月に気象庁から公表した「地球温暖化予測情報第9巻」にRCP2.6シナリオの予測、及び、2km格子の地域気候モデルの結果を追加したデータセットである。



マルチシナリオ・マルチ物理予測データ

60km格子の全球大気モデルの結果を境界条件として、20km格子の地域気候モデルによる力学的ダウンスケーリングを行った結果である。



全球及び日本域150年連続実験データ

世界全域と日本周辺領域について、それぞれ60km格子と20km格子の全球大気モデル及び地域気候モデルを用いて行った気候実験の結果である。



全球及び日本域確率的気候予測データ (d4PDF シリーズ)

60km格子の全球気候モデルによる大規模アンサンブル実験の結果、及び、それらを境界値として20km格子の地域気候モデルを用いた力学的ダウンスケーリングの結果である。



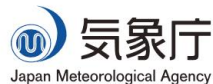
北海道域d4PDFダウンスケーリングデータ

北海道の十勝川帯広基準点流域での15日間を選定し、北海道地域を対象として5km格子に力学的ダウンスケーリング実験を実施した結果である。





気象データアナリスト 活用のススメ



Q 気象データアナリストって?

A. 気象データアナリスト(登録商標第6450756号)とは、企業におけるビジネス創出や課題解決ができるよう、気象データの知識とデータ分析の知識を兼ね備え、気象データとビジネスデータを分析できる人材のことです。例えばこのような場面で、気象データアナリストの活躍が期待されます。



過去の販売・顧客データ

×

気象データ

発注数の精度向上により
廃棄ロスの減少や底値で
仕入れるなど利益アップ



売上データやSNS

×

気象データ

店舗混雑予想情報や
割引サービスを
顧客へ提供



過去の出荷/入荷実績等

×

気象データ

荷物量・
作業量を予測、
要員計画を最適化



Q 気象データアナリストを育成するには?

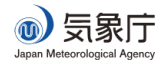
A. 気象データアナリスト育成講座があります。

気象庁では、気象データの分析のために得るべき知識・技術(スキルセット)を育成講座の標準的なカリキュラムとして示し、適合する民間の教育訓練事業者が実施する講座を「気象データアナリスト育成講座」として認定しています。

認定された講座は、気象庁ウェブサイトでご覧いただけますので、ぜひこれらの講座をご活用ください。



お問い合わせ先 気象庁 情報基盤部情報利用推進課 気象ビジネス支援企画室
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9 メール:jma_suishin@met.kishou.go.jp



気象庁HP「気象データアナリスト育成講座」の認定制度について
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shinsei/wda/index.html>